



平成 20 年 度
予 算 の 概 要

多 摩 市

～分かりやすい予算をめざして～

市ではさまざまな事業を行っています。
それは計画的に行う必要があり、また、入ってくる収入の範囲内で行う必要があります。その計画書が「予算書」です。

予算は、どのような事業を行うのか、の計画であり、
それを行う資金調達計画でもあり、
必要となる経費の支出計画でもあります。

この3つの計画内容を一体として、「歳入」「歳出」という形でお金で表し、
とりまとめた計画が予算なのです。

この冊子は、予算をできるだけ分かりやすくお伝えするために作成しました。
「財政」や「予算」というと、とっつきにくいイメージがありますが、少しでも
関心を持って読んでいただければ幸いです。

見学に来たこぐまです。
いろいろ教えてね。



案内の財政課職員、
多摩の熊たくまです。
どうぞよろしく。



毎年夏になると、中学二年生のみなさんが、税や予算のことを調べに図書館や市役所を訪れます。
今日はその代表として、こぐまくんを案内します。

平成 20 年度の多摩市の予算は

限られた貴重な財源を重点施策に配分

多摩市では、少子高齢化に伴う社会保障経費や都市基盤・公共施設の老朽化に伴う経費などが年々増加傾向にあります。

このような状況でも、安心して子どもを産み育てることや、まなびの環境整備、健康づくり、支え合いづくり、災害に強いまちづくり、安全安心、高齢者・障がい者施策の推進、ごみの減量とみどりの保全といった重点施策に積極的に予算を配分しました。

【3つの優先分野に 102億7,817万円】

平成20年度は「2010への道しるべ 多摩市戦略プラン」の3年目で折り返しの年にあたります。このプランでは、「市民の暮らしの視点」を大切にして、「3つの優先分野」を設定しました。平成20年度予算も、この3本を柱としています。

「Ⅰ だれもが自分らしく、まなび、育ち、自立できるまちづくり」

64 億 6,215 万円 ⇒ 2 ページ

「Ⅱ みんなが支え合い、安心して暮らせるまちづくり」

20 億 4,764 万円 ⇒ 4 ページ

「Ⅲ 活気とやすらぎが調和するまちづくり」

17 億 6,838 万円 ⇒ 6 ページ

国や都の制度改革に適切に対応

急速に進む高齢化や医療の高度化などにより医療費は年々増加しています。20 年度には医療制度改革により後期高齢者医療制度が開始されるなどし、繰出金が大幅に増加しています。それらにも適切に対応できるような予算としています。

◎ 医療や社会保障面に配慮

176 億 8,600 万円 ⇒ 17 ページ

新たな支え合いの仕組みづくり

持続可能な多摩市であるための土台づくりとなる課題に、継続して取り組みます。

◎ 支えあいを広げるために

3 億 4,200 万円 ⇒ 50 ページ

第1章「多摩市の予算」

予算を市民の視点から見たら？これまでの変化は？他の自治体との比較は？
平成19年度予算を理解するために、そんな角度からやさしく解説してみました。

I 使い方から見てみよう（歳出）

- 1 多摩市はこんなまち ～みなさまに納めていただいた税金は「ここ」に使います～-----2
 <特集> 平成20年度 家庭系ごみ処理手数料の活用方法-----8
- 【コラム】 豊か？ 厳しい？ 多摩市の財政 -----9
- 2 市民一人当りのサービスは？ ～ひとり32万4千円！その内容～-----10
- 3 市民一人当りの税金の使い道は？ ～ひとり20万円！その使い道～-----11

II 使う予算の資金はどこから来るの（歳入）

- 収入の状況-----12

III 予算の移り変わりとは多摩市の状況

- 1 貯金の状況-----13
- 2 借金とローンの現在高-----14
- 3 財政の硬直化 ～ケイジョウシュウシヒリツって???～-----15
- 4 収入に占める借入金の割合 ～コウサイヒフタンヒリツって???～-----16
- 5 社会保障関係予算 ～市民の生活を保障する予算は ～-----17
- 【コラム】 市民負担の軽減のために -----18

第2章「平成20年度の多摩市の予算」（資料編）

平成20年度の多摩市の予算の特徴、過去との比較など、少し専門的なことも含め、詳しいグラフや表などを交えた予算資料です。

I 会計別予算

-----20

II 一般会計

- 款別予算額【歳入】-----22
- 款別予算額【歳出】-----27
- 性質別予算額【歳出】-----32
- ◆歳出 性質別予算額 3ヶ年の変化-----36

◆歳出 款別（目的別）予算 3ヶ年の変化	37
◆市税収入と義務的経費、投資的経費の推移	38
財政指標（○経常収支比率 ○公債費負担比率）	38
基金の状況	40
地方債・債務負担行為の状況（借金とローン）	41

Ⅲ 主要事業の概要 ～新規・レベルアップ・普通建設事業～

02 総務費	42
03 民生費	43
04 衛生費	45
05 労働費	46
06 農林業費	46
07 商工費	46
08 土木費	46
09 消防費	47
10 教育費	48

Ⅳ 特別会計

国民健康保険特別会計	50
下水道事業特別会計	51
受託水道事業特別会計	51
老人保健医療特別会計	52
介護保険特別会計	52
介護保険サービス事業特別会計	53
後期高齢者医療特別会計	53

Ⅴ その他

新たな支えあいの仕組みづくり～平成 20 年度の取り組み～	54
平成 20 年度当初予算協働指定委託事業一覧	55
平成 20 年度の戦略プランの推進に向けた市政運営の基本方針（骨太の方針）	56
平成 20 年度予算編成方針（通達）	60

第1章 市民の予算

「予算」ってわかりにくい？ これまでの変化は？ 他の自治体との比較は？

第1章では、そんな角度から、やさしく平成20年度予算について解説します。

まちづくりは、
市の予算だけで
しているのではないよね。

「子育てひろば」とか
「ぼうけん遊び場」とか、
市民が、市民の力で
しているまちづくりが
たくさんあるでしょう？



そのとおりですね。

ただ、予算は、
「みんなが出し合った
大事なお金を、こんなまちに
するために使いたい」
という願いの表れでもあります。

ですから
予算から市を知るのも
やっぱり大切ですね。

I 使い方から見てみよう（歳出）

「どんな分野にどう予算が使われているか」がわかれば、多摩市がどんなまちか、見えて来ます。市民の視点で見た予算から、多摩市の姿を追いかけてみましょう。

1 多摩市はこんなまち ～みなさまに納めていただいた税金は「ここ」に使います～ まちづくりの優先分野 I

だれもが自分らしく、まなび、育ち、自立できるまちづくり 135億5千万円
(うち新規 レベルアップ等64億6千万円)

1 のびやかに今を生きる子どものために (子育て 子育て支援) 5億6千万円

民間の保育園2園の増改築工事に補助を行ないます。これに伴い、保育所の定員が増えます。

また、新たな学童クラブの開所に向けて工事を進めます。19年度から21年度まで、毎年1箇所ずつ学童クラブの新設を行なう、2年目にあたります。

2 子どもも大人も、学習する環境がより良くなるように (まなびの環境整備) 37億2千万円

多摩センター方面(旧西落合中)に移転した図書館を利用できます。豊ヶ丘中学校と貝取中学校が統合してできる青陵中学校の整備を行ないます。

新しくなった多摩第一小学校で、子どもたちが勉強できるようになります。(完成は平成21年度です。)

3 一人ひとりの健康のために (健康づくりの推進) 21億5千万円

健康づくりや食育の普及啓発のため、キャンペーン活動などに取り組みます。

妊婦健康診査については、予め5回分の受診券をお渡しする方式に変わり、より受診しやすくなります。

医療費の伸びや国の医療制度改革に伴い、国民健康保険税が大幅に増加することが予定されていましたが、一般会計からの繰出金を増額(約1億5千万円)することで、税負担が急激に増えるのを避けています。



~~~~~ 多摩市はこんな市 ~~~~~

多摩市の保育料はとても安いんです。ちょっと古いデータですけど、ある経済誌の調査では多摩市の保育料は全国で7位の安さでした(平成18年11月時点)。都内全26市でも一番安いんです。21年度には平均に近づくよう見直す予定です。



へー、そんなに安かったんだ！ふむふむ、この雑誌だと、子育て環境全般でも36位って書いてあるね。すごいね。

そういうこと、あんまり知らないなあ。もっとちゃんと教えて！

平成20年度に新規に始めたり、レベルアップしたりする事業です。  
 「平成20年度はどうか」で示しているため、事業費総額の場合と増額分だけの場合があります。  
 詳しくは、42ページ以降の『主要事業の概要』をごらんください。

主な新規・レベルアップ事業

42ページ以降の『主要事業の概要』をごらんください

**1 子育て 子育て支援**

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 保育園 学童クラブの待機児童対応       | 2億7,072万円 |
| 民間保育所補助(保育所建築費補助金)     |           |
| (仮称)南鶴牧小学童クラブ運営準備業務委託料 |           |
| (仮称)南鶴牧小学童クラブ建設 備品等    |           |
| (仮称)永山小学童クラブ運営業務委託料    |           |
| 連携保育所運営業務委託料(新)        |           |
| 総合的施設による在宅育児支援(整備事業)   | 5,629万円   |
| 特別支援教育の充実              | 9,816万円   |
| 発達障がい支援施策の推進(ひまわり教室移転) |           |
| 特別支援学級施設整備(和田中)        |           |
| こどもプラン推進事業             | 518万円     |
| 幼稚園就園奨励費補助金            | 1億3,071万円 |

**2 まなびの環境整備**

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| 第一小学校建替え                 | 27億9,308万円 |
| 青陵中学校の整備                 | 3億9,709万円  |
| 校庭の芝生化(南鶴牧小)             | 7,300万円    |
| 図書館機能の充実(図書費増額)          | 1,300万円    |
| 連光寺小学校校舎増築               | 2億1,438万円  |
| 小学校統合関連の備品整備(二小 竜小)      | 200万円      |
| 地域教育力支援事業(地域コーディネーター)(新) | 332万円      |
| 特別支援教育の充実                | 9,816万円    |
| 発達障がい支援施策の推進(ひまわり教室移転)   |            |
| 通級学級施設整備(和田中)            |            |
| など                       |            |

**3 健康づくりの推進**

|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 食育も含めた「けんこう多摩手箱プラン」の更なる推進     | 1,121万円    |
| (健康づくり通信の発行、啓発 促進事業)          |            |
| 医療構造改革に伴う諸制度の円滑な運営: 国保特別会計繰出金 | 21億1,407万円 |
| 母子健康診査事業(妊婦健診5回まで無料化)         | 2,375万円    |
| など                            |            |

**4 就労支援の促進**

|                |         |
|----------------|---------|
| 障がい者就労支援事業     | 206万円   |
| シルバー人材センター施設整備 | 3,282万円 |
| など             |         |

## みんなが支え合い、安心して暮らせるまちづくり

112億1千万円

(うち新規・レベルアップ等20億5千万円)

### 1 災害に強く犯罪のないまちのために (安全・安心) 5億3千万円

震災に備えて、市内公共施設や住宅の耐震化を促進し「災害に強いまちづくり」を推進します。  
地域で行なわれる自主防犯活動の支援や、街路灯の照度を明るくすることで、安心して移動できるまちをつくります。



### 2 高齢者・障がい者がもっと安心して暮らせるまちのために (高齢者・障がい施策の推進) 10億9千万円

国の医療制度改革により平成20年4月から始まる後期高齢者医療制度を実施するため、新たに設置された特別会計へ医療給付費等の市の負担分を繰出します。  
在宅の重症心身障がい者(児)の生活の場を確保し、運動機能の低下防止や在宅療養の向上を図ることによって、できるだけ長い期間家族と共に地域社会の中で生活できるよう支援します。



### 3 つながりを持って、互いに支え合えるまちのために (支え合いの輪の拡充) 4千万円

第10コミュニティエリア\*に市内で8番目の「(仮称)唐木田コミュニティセンター」を建てるため、実施設計を行なう経費です。(2カ年の2年目。平成19・20年度は実施設計業務委託し、平成23年度に開館予定。)  
\*第四次総合計画において唐木田、中沢、山王下、落合、鶴牧地区を想定したエリア。

~~~~~ 多摩市はこんな市 ~~~~~

多摩市は市民活動の場の提供に力を入れているんです。その代表的な施設がコミュニティーセンターで、地域コミュニティの核として、これまでに7館を整備しました。
施設規模も、他自治体の「公民館」と同じくらいの大きさなんです



僕のお母さんも、おじいちゃんも毎週通って楽しんでいるよ!
「お友達と集まれる場所があるってうれしい」っていつも言ってるよ。



1 安全・安心施策の推進

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| 地域防犯ネットワークモデル地区の拡大など | 382万円 |
| 街路灯照度アップの継続実施 | 600万円 |
| 民間住宅耐震改修の促進 | 1,377万円 |
| 公共施設耐震対策
本庁舎B棟耐震補強工事関連 | 4億7,603万円 |
| 自動体外式除細動器追加設置(小学校・体育施設・児童館) | 243万円 |
| 災害時連絡の新たな確保(防災行政無線デジタル対応、災害時優先公衆電話設置) | 935万円 |
| 優良建築物等整備事業補助金 | 2,188万円 |

2 高齢者・障がい施策の推進

| | |
|---|-----------|
| 後期高齢者医療特別会計繰出金(新) | 9億2,845万円 |
| 高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)改定事業 | 211万円 |
| 包括的支援一般福祉事業(ラウンジ業務委託) | 78万円 |
| 心身障がい者(児)通所訓練等事業
つくし・第2つくし作業所 民間移譲に向けた準備など | 1億2,848万円 |
| 重症心身障がい児(者)通所事業 | 1,308万円 |
| 精神障がい者退院促進支援事業(新) | 553万円 |
| 精神障がい者グループホーム活用型ショートステイ事業(新) | 230万円 |
| 鉄道駅周辺のバリアフリー化の促進
点字ブロック設置(永山駅・多摩センター駅周辺) | 800万円 |
| オストメイト対応型トイレ改修(18箇所) | 119万円 |

3 支え合いの輪の拡充

| | |
|-------------------|---------|
| 市民活動情報センターの運営 | 471万円 |
| 唐木田コミュニティーセンターの整備 | 2,085万円 |
| 中国残留邦人等支援事業(新) | 988万円 |

4 快適に安全に移動できるまちの推進

| | |
|-----------------------|-----------|
| 橋りょう新設事業(明神橋人道橋、向ノ岡橋) | 1億3,300万円 |
| 舗装打換工事(4路線) | 1億4,700万円 |
| 道路新設工事(1路線) | 3,000万円 |
| 道路用地買収費・物件補償費(拡幅用1路線) | 7,500万円 |
| 駐輪場整備工事(唐木田駅第2駐輪場) | 400万円 |

活気とやすらぎが調和するまちづくり

49億6千万円

(うち新規・レベルアップ等17億7千万円)

1 まちがもっと魅力的になるように (魅力あるまちの創出) 3億4千万円

ハローキティにあえる街、イルミネーション、ハロウィン、せいせき多摩川花火大会など、より魅力が増した多摩市で生活したり、家族や友達と楽しんだりできます。



2 環境と共生する循環型社会をめざして 14億3千万円

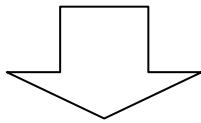
○緑の確保

多摩丘陵の里山的空間が残された和田地区の貴重なみどりを、緑地として保全するために買取ります。

○ごみの減量に向けて

多摩市の収集ごみ量は、多摩地域30市町村の平均よりも多い状況が続いており、17年度実績の17位から、18年度には20位まで後退しています。

地球環境の保全と最終処分場の長期活用のためには、大幅なごみ減量が必要です。20年度は19年度に比べて**15%のごみ減量を目指します。**



地球環境の保全のために！

更なるごみの減量化を目指して、集団回収の推進や、生ごみ処理機購入補助制度の充実、省エネルギー機器設置費補助制度の創設など、市民のみなさんの環境共生の取り組みを積極的に支援します。

また、家庭系ごみの有料指定袋による収集が始まります。ごみ処理には多額の市税が使われていますが、そのうちの一部を「ごみ処理手数料」としてみなさまにご負担いただくものです。

いただいた手数料は、「環境のために」有効に活用します。

活用方法は…
8ページへ！



1 魅力あるまちの創出

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 企業誘致事業 | 2,258万円 |
| 観光資源の開発 活用 | 2,856万円 |
| 観光事業（多摩センター駅周辺案内板など） | |
| せいせき多摩川花火大会補助事業 | |
| 学校跡地恒久活用施設検討 | 134万円 |
| 公共施設の配置の適正化とストックマネジメント計画の策定 | 2億7,116万円 |
| 庁舎のあり方検討事業 | |
| 庁舎増改築基金原資積立 | |
| 保全情報システム（ストックマネジメント）開発等 | |
| 建築物（小中学校）劣化調査業務 | |
| 住宅市街地総合整備事業関係経費 | 1,050万円 |

2 環境と共生する循環型社会の構築

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 環境保全啓発（省エネルギー機器設置補助金、食用廃油再生燃料化事業など） | 943万円 |
| ごみ減量化推進事業（資源集団回収補助金など） | 7,257万円 |
| 廃プラスチック対応（資源化センター管理運営） | 1億5,273万円 |
| 塵芥収集事業（ごみ収集袋製造、運搬業務委託など） | 8億9,956万円 |
| 和田緑地保全の森用地買収 | 2億9,994万円 |

~~~~~ 多摩市はこんな市 ~~~~~

今年度から、各家庭から出されるごみも有料指定袋で収集されることになったんだよね。ぼくも、おうちでごみを減らすよう頑張らなくちゃ！



そうなんですよ、地球環境の保全のためには、さらなるごみの減量が求められているんです。みなさまから頂いた、ごみ処理手数料を活用して、「環境行政の取り組み」を充実していきます。

＜特集＞ 平成20年度 家庭系ごみ処理手数料の活用方法

～みなさまからいただいた手数料を活用して、より良い環境づくりを目指します～

端数については削除

|                          |                    |           |
|--------------------------|--------------------|-----------|
| ■ 歳入（家庭系ごみ処理手数料）         | 歳入合計               | 約2億8400万円 |
| ■ 歳出（収集袋製造及び管理業務委託、収納委託） | 歳出合計               | 約1億2000万円 |
|                          | 歳入-歳出              | 約1億6400万円 |
|                          |                    | ↓         |
|                          | 特定財源としてごみ処理関連経費に充当 |           |

特定財源として充当されることにより軽減される市税負担、約1億6400万円を活用して、市の「環境行政の取り組み」を充実します。

☆ごみ減量のために・・・約1億1,600万円①

- ごみ減量推進の取り組み 約4,700万円
  - ・集団回収の推進（補助単価のアップなど 約2,400万円増）
  - ・生ごみ処理機補助の充実（補助対象にバイオ消滅型を追加など 約510万円増）
  - ・普及・啓発活動にかかる経費（転入者向けごみ分別説明業務、生ごみ堆肥化講習会、マイバック運動の取り組みなど 約1,000万円増）
  - ・地球にやさしいエコショップ認定制度の推進（約60万円増） など
- 資源化センターでプラスチックの資源化を開始することに伴う費用 約6,900万円
  - ・プラスチックの選別にかかる経費、大気環境調査の充実、活性炭交換業務委託、エコプラザ多摩協議会の運営など

☆環境保全のために・・・約2,500万円②

- 自然エネルギーの導入 約1,500万円
  - ・第一小学校建替事業における太陽光発電設備（20kw）の設置
- 小学校における環境教育の推進 約100万円
- 新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金の新設 約400万円
  - ・太陽光発電や太陽熱温水器等の「住宅用新エネルギー機器」と、ヒートポンプ式給湯器等の「住宅用省エネルギー機器」設置費の補助制度を新設
- 食用廃油再生燃料化モデル事業の開始 約500万円
  - ・学校給食センターから排出される食用廃油をバイオディーゼル燃料として再生し、活用するためのモデル事業

☆みどりの確保のために・・・約2,300万円③

- 南鶴牧小学校の校庭芝生化工事 約1,500万円
- 緑化基金の積み立て 約800万円

①+②+③= 約1億6,400万円

## 【コラム】 健全? 厳しい? 多摩市の財政

「多摩市の財政は健全な状態です」  
 「多摩市の財政は厳しい状況にあります」  
 その両方を聞いて「本当はどっち?」と首をかしげている方もいるのでは。  
 実は、両方とも本当です。

### 財政の状態は健全?

自治体の財政の健全さなどを示す指数があります。下のグラフは、全国782の自治体の平成18年度決算時点での指標の各順位を示したもので、外側ほど良好です。

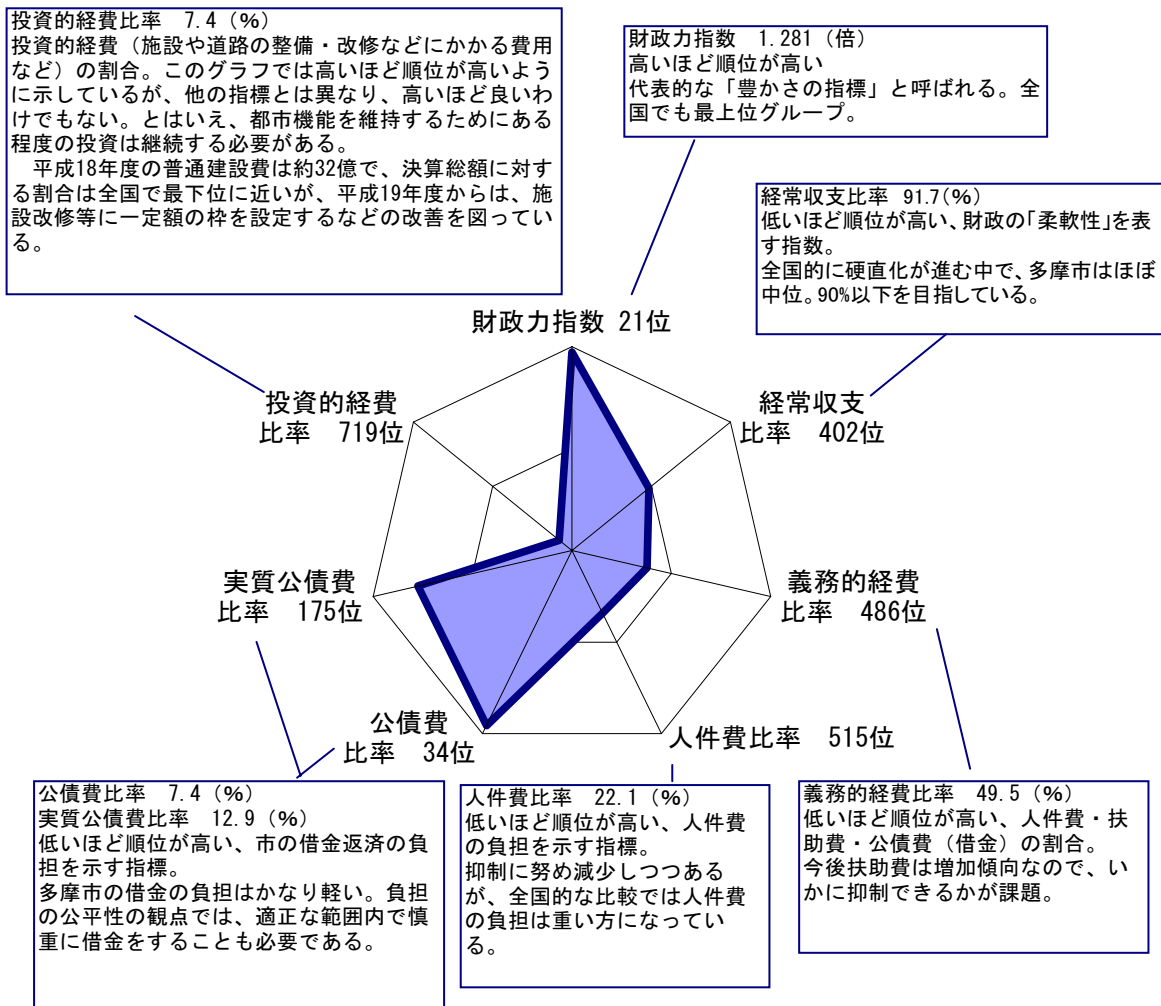
これによると、「豊かさの指標」と言われる「財政力指数」が全国で最上位のグループにはいり「借金の負担が少ない」、財政が健全な状態にある自治体です。

この他にも、「ひとりあたり公園面積が東京26市で第1位」「立派な施設が多い」「子育てしやすさが毎年全国上位」「各方面で市民負担が軽い」など、多摩市の豊かさを示す情報は枚挙にいとまがありません。歳入における市税の割合が高いことからも「基礎体力のある」自治体とも言われます。

### 財政状況は厳しい?

しかしその豊かさは、財政の厳しさと表裏をなしています。高い市民サービスを保ち立派な施設や道路を維持するには多くの経費がかかります。そのための財源の大元である市税は、多摩市の人口構成の特徴などから、今後減少して行くことも予想されます。市の「貯金」である基金も取り崩し、平成20年度の基金総額は26市平均を下回る可能性もあります。



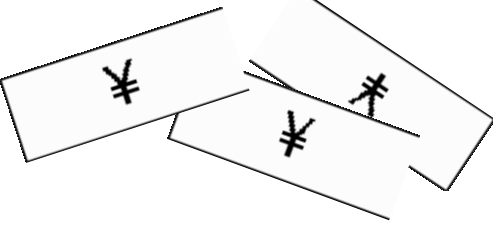





多摩市がこれからも持続可能であるように、現在と将来に配慮した予算編成を行っています。



「全国都市財政年報 全国782都市・23特別区 2006年度決算」(日本経済新聞社)より抜粋

## 2 市民一人当りのサービスは？ ～ひとり32万9千円！その内容～



平均すると、市民ひとりあたり32万9千円のサービスを受けていることとなります。その内訳を示しました。  
 一般会計予算（案）「484億円5,000万円」を  
 平成20年1月1日現在の住民基本台帳人口及び外国人登録調べ「147,077人」で割りました。  
 ( )内は昨年度金額です

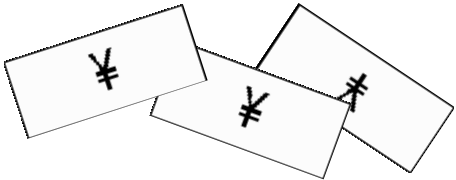

|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>民生費</b><br/>                     (高齢者・障がい者・児童福祉・生活保護者のために)</p>  <p><b>12万8千円 (12万1千円)</b></p>       | <p><b>教育費</b><br/>                     (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p><b>6万8千円 (6万3千円)</b></p>        |
| <p><b>公債費</b><br/>                     (市の借入金の返済のために)</p>  <p><b>2万5千円 (2万7千円)</b></p>                   | <p><b>土木費</b><br/>                     (道路・公園整備のために)</p>  <p><b>1万9千円 (1万9千円)</b></p>          |
| <p><b>総務費</b><br/>                     (情報推進・交通対策・コミュニティセンターの管理運営のために)</p>  <p><b>4万4千円 (4万7千円)</b></p> | <p><b>衛生費</b><br/>                     (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p><b>2万6千円 (2万8千円)</b></p> |
| <p><b>消防費</b><br/>                     (消防・防災のために)</p>  <p><b>1万3千円 (1万3千円)</b></p>                     | <p><b>その他</b><br/>                     (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p><b>6千円 (6千円)</b></p>        |


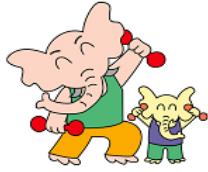
※ 教育、消防など、使う目的ごとに分け方を「目的別」、「款（かん）別」などと言います。  
 ⇒詳しくは「一般会計款別予算額」27ページ、「主要事業の概要」42ページ

### 3 市民一人当たりの税金の使い道は？ ～ひとり20万円！その使い道～

平均すると、赤ちゃんも含めて市民ひとりあたり**20万円**の市税を払っていることとなります。その使い道を示しました。  
 市税（予測）「**293億円5,610万円**」を  
 平成20年1月1日現在の住民基本台帳人口及び外国人登録調べ「**147,077人**」で割りました。  
 ( )内は昨年度金額です

|                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>民生費</b><br/>                 (高齢者・障がい者・児童福祉・生活保護者のために)</p>  <p><b>6万3千円 (6万円)</b></p> | <p><b>教育費</b><br/>                 (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p><b>3万8千円 (4万1千円)</b></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>公債費</b><br/>                 (市の借入金の返済のために)</p>  <p><b>1万8千円 (1万9千円)</b></p> | <p><b>土木費</b><br/>                 (道路・公園整備のために)</p>  <p><b>1万4千円 (1万3千円)</b></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>総務費</b><br/>                 (情報推進・交通対策・コミュニティセンターの管理運営のために)</p>  <p><b>3万5千円 (3万6千円)</b></p> | <p><b>衛生費</b><br/>                 (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p><b>1万8千円 (1万8千円)</b></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>消防費</b><br/>                 (消防・防災のために)</p>  <p><b>9千円 (1万1千円)</b></p> | <p><b>その他</b><br/>                 (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p><b>5千円 (5千円)</b></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

民生費にかかっている市  
 民税は、  
 左のページのサービスの  
 お金の半分くらいなんだ  
 ね。



一番基本的なものだから、国や  
 都のお金の割合も高いんです  
 よ。  
 反対に、左右のページであまり額  
 が変わらないものは、多摩市が  
 独自で負担しているものが多い  
 です。

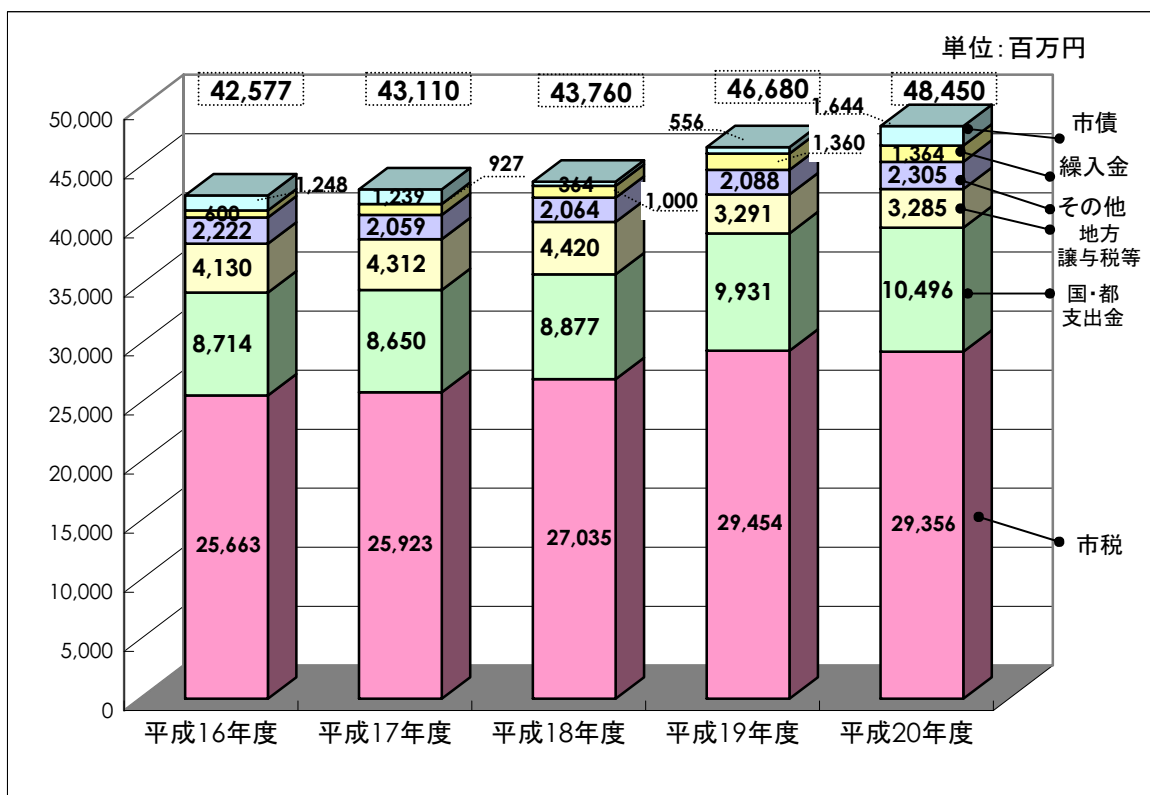
## Ⅱ 使う予算の資金はどこから来るの（歳入）

### 収入の状況

前年度と比較して3.8%、1,770,000千円の増となりました。

主なものは、国・都支出金（5.7%、565,014千円の増）と市債（195.8%、1,088,400千円の増）の増加によるものです。多摩第一小学校建替事業や青陵中学校の増築改修工事など、歳出予算の中の普通建設事業費が増加したことに伴って増加しています。

#### ■当初予算における歳入構成の変化



その他＝ 分担金及び負担金＋使用料及び手数料＋財産収入＋寄附金＋繰越金＋諸収入

※ 「平成16年度」については減税補てん債借換3,038百万円を除く数値

6割くらいが市民の税金で、2割が国や東京都から来るんだね。



そのとおりです。多摩市は、市民が税を払う力が強い、全国的に見ても「基礎体力のある市」なんですよ。

ただ、納税者人口の減少の影響で市民の税は減る傾向にあるんです。他の市よりも充実した施設など、お金がかかっている面もあるので、予算の使い方はもっと工夫しないとね。

※ 市に入る収入について、年度単位でみる場合は「歳入」と表現しています。

⇒詳しくは22ページ「Ⅱ 一般会計予算」

### Ⅲ 予算の移り変わりとお摩市の状況

#### 1 貯金の状況

市の貯金を「基金」と言います。

20年度は、19年度に引き続き、不足する財源を補うために財政調整基金や公共施設整備基金などを取り崩すため、減少する見込みです。なお、19年度に取崩す予定だった公共施設整備基金の一部を、工事の遅れなどの事情で20年度に先送りしたため、取り崩し額がふくらんで見えています。

このように厳しい中ですが、将来に備えて庁舎増改築基金、都市計画基金などの積み立ても行っています。

#### ▼貯金の状況

| 区分        | 平成18年度末<br>残高 | 平成19年度末<br>残高見込み | 平成20年度<br>取崩し | 平成20年度<br>積立金 | 平成20年度末<br>残高見込み |
|-----------|---------------|------------------|---------------|---------------|------------------|
| 1. 財政調整基金 | 24億5,000万円    | 17億2,200万円       | 6億4,000万円     | 500万円         | 10億8,700万円       |
| 2. 減債基金   | 2億100万円       | 2億200万円          |               | 100万円         | 2億300万円          |
| 3. 特定目的基金 | 78億7,600万円    | 79億3,600万円       | 7億2,400万円     | 3億8,000万円     | 75億9,300万円       |
| 合計        | 105億2,700万円   | 98億6,000万円       | 13億6,400万円    | 3億8,600万円     | 88億8,200万円       |

\*それぞれを100万円単位で四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

- ・ 財政調整基金 経済事情の変動により財源が著しく不足する場合に、貯金をおろし不足を補うことを目的とする基金で、いわば普通預金のようなものです。
- ・ 減債基金 借入金（地方債）の返済のためにお金を積立て、毎年平均的に返済できるようにする為のものです。
- ・ 特定目的基金 公共施設整備基金、緑化基金など、継続的な事業を将来にわたり安定的に進めるための基金です。

多摩市の貯金は減っているねえ。ほかの市と比べたらどうなの？



はい…

他の市の様子はまだわかりませんが、多分総額では、26市の平均より下がるのではないかと思います。市民ひとりあたりで比べれば、平均額くらいではないかと推測しているんですが。学校や公共施設が一斉に古くなっているのもその対応とか、扶助費が増えているとか、決して無駄使いしているのではないんですけど…とにかく油断できない状況なので、公共施設の配置を見直すとか、毎年かかるお金（経常経費）を本当に最小限にするとか、これからもっともっと工夫して、できるだけ貯金が減らないようにがんばりたいです。

⇒多摩市の基金の状況について、詳しくは40ページ「基金の状況」

## 2 借金とローンの現在高

「地方債」は市の借金、「債務負担行為」はローン、分割払いに例えられます。  
平成20年度も新たな地方債が増えましたが、将来の負担を増やさないため必要最小限に抑えているので、総額としては減り続けています。

### 地方債（借金）

学校、公園など、公共施設の整備や減税による税収不足を補う際などに発行します。  
計画的に返済する一方で、極力増やさない努力を続けています。

### 債務負担行為（ローン、分割払い）

債務負担行為は、複数年に渡り支払う約束です。  
学校などの施設や土地の支払いを分割で行うとき、また、機器のリースなど何年か使用するものをその期間中に分割して支払う場合などに行っています。

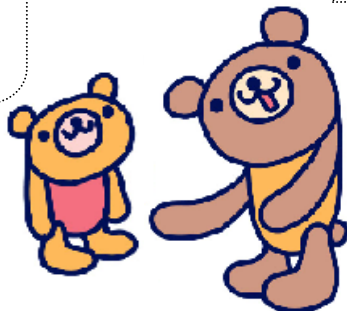
いったん借りてから返すか、先々に支払う約束をするか、の違いはありますが、どちらも「将来の負担」という意味では似通っています。

### ▼借金とローンの状況

| 地方債<br>(借金)     | 18年度末<br>現在高 | 19年度末<br>現在高見込額 | 20年度増減見込額      |                | 20年度末<br>現在高見込額 |
|-----------------|--------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
|                 |              |                 | 新規借入見込額<br>(増) | 元金償還見込額<br>(減) |                 |
|                 | 295億1,100万円  | 269億5,300万円     | 16億4,400万円     | 30億7,300万円     | 255億2,400万円     |
| 債務負担行為<br>(ローン) | 18年度末<br>現在高 | 19年度末<br>現在高見込額 | 20年度増減見込額      |                | 20年度末<br>現在高見込額 |
|                 |              |                 | 設定見込額          | 支払見込額          |                 |
|                 | 118億700万円    | 151億2,400万円     | 6億300万円        | 22億7,900万円     | 134億4,800万円     |
| 合計              | 413億1,800万円  | 420億7,700万円     | 22億4,700万円     | 53億5,200万円     | 389億7,200万円     |

借金が減って  
よかったね！

借金なんて、  
ぜんぜんない方が  
いいんだよね！



うーん、  
「ぜんぜんない方がいい」というと、そうともいえないんですよ。  
例えば、学校を今建てたら、あなたの子どもや孫もきっと使いますね。そういう、必要で大切な施設には、  
今のおとなたちも、あなたがおとなになったときも、  
みんなでお金を出し合うべきだという考え方があります。  
これを難しい言葉で、  
「世代間の公平負担」と言います。

とはいっても、今のおとなたちが借金をしすぎて、  
あなたたちがおとなになったときに、  
新しいことを決める余地がなくなるでなくなっていたら…  
不公平ですよ！！

「将来にツケを回す」ことのないように、  
がんばって減らしますね！

⇒多摩市の地方債について詳しくは41ページ「地方債・債務負担行為の状況」

### 3 財政の硬直化 ～ケイジョウシュウシヒリツって???～

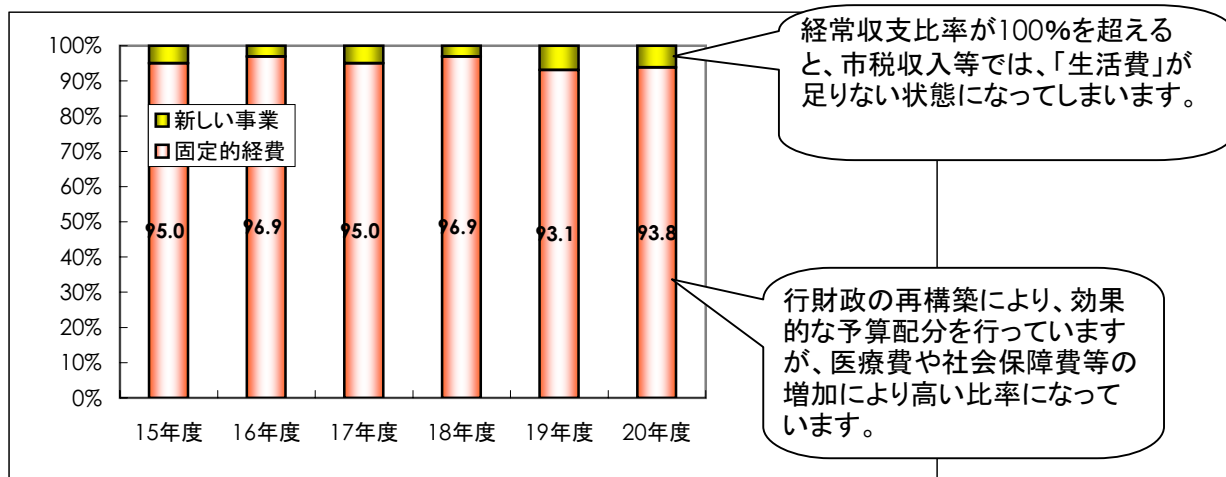
市の予算の中で、収入に対する経常経費（毎年必ず使うことが決まっている経費＝固定的経費）の割合を、「経常収支比率（ケイジョウシュウシヒリツ）」と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつです。

この割合が高ければ、時代の変化などの新しい状況に弾力的に対応できません。家計に例えるなら「ローンや光熱水費で身動きができない」状態です。このような自治体を、「財政が硬直化している」自治体と呼びます。

#### 経常収支比率は93.8%で、改善に努めてはいるものの依然として財政は硬直傾向

平成20年度当初予算（案）の経常収支比率は93.8%になり、前年度当初予算比較では0.7ポイント高くなりました。

歳出については、後期高齢者医療特別会計への繰出金等、社会保障関係経費が大きく増加していますが、人件費や補助費等の抑制に努め、経常経費に充当される一般財源の増加を1.6億円に抑えています。歳入については、市税収入の減少等により経常一般財源が7.5千万円減少しました。



#### 多摩市の経常収支比率は…

東京都26市の決算時点における多摩市の経常収支比率は、平成14年度は23位でした。行財政の見直しで、平成17年度は6位に上がりましたが、平成18年度は15位と再び後退してしまいました。これは、臨時財政対策債と減税補てん債の借入れを加えた新しい算定によるものです。

18年度決算において、臨時財政対策債や減税補てん債の借入れを行わなかったのは、26市中多摩市のみです。



ちょこっと減ったけど、まだまだ高いの？  
どれくらいならいいの？



本を見ると75～80%が適正と言われて  
いますけれど、道路や建物の多い都  
市部は、高くなる傾向があります。

今は、どこの自治体も苦しいです。  
多摩市は、まあ、ましな方かな？  
でも、90%は割りたいです。  
これからも、もっとなげますね。

⇒多摩市の財政指標について、詳しくは38ページ「財政指標」

## 4 収入に占める借入金の割合 ～コウサイヒフタンヒリツって?～

市の予算の一般財源の中で、公債費（借入金の返済）の割合を公債費負担比率（コウサイヒフタンヒリツ）と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつです。

### 公債費負担比率

平成20年度の公債費負担比率は9.1%で、前年度当初予算との比較では、0.4ポイント低くなりました。

これは、一般財源総額が市税収入の減少等により約1.7億円減少しましたが、公債費充当一般財源が、昨年度と比較して約1.5億円減少したことによるものです。

公債費負担比率は、一般的に15%を超えると黄信号、20%を超えると赤信号と言われています。

(単位：%)

| 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 9.6  | 9.8  | 9.7  | 9.8  | 9.5  | 9.1  |

10%より少ない多摩市は  
良い方なんだね？



えへへ、  
実はちょっとじまんです。

東京都内の市町村は  
全般に良いのですけどね。  
その中でも多摩市は、  
平成18年度の東京26市の  
決算時点における  
公債費負担比率は10位でした。  
貯金も減ったけれど、借金も減っているんですよ。

⇒多摩市の財政指標について、詳しくは38ページ「財政指標」

## 5 社会保障関係予算 ～市民の生活を保障する予算は～

社会保障にかかる経費は、年々増えています。昨年度との比較だけでも、下の表のとおり最大21.1ポイント増えています。

健康づくり、就労支援などで対象者が減るように努めることと、それでもどうしても必要な経費を捻出すること、の両面が、今後ますます必要になります。

|                               |              | 平成20年度      | 平成19年度      | 増減額          | 増減率<br>(%) |
|-------------------------------|--------------|-------------|-------------|--------------|------------|
| 特別<br>会計<br>への<br>繰<br>出<br>金 | 国民健康保険特別会計   | 21億1,400万円  | 18億1,100万円  | 3億300万円      | 16.7       |
|                               | 老人保健医療特別会計*  | (7,000万円)   | (5億2,400万円) | (△4億5,400万円) | (△86.6)    |
|                               | 介護保険特別会計*    | (9億1,000万円) | (8億5,700万円) | (5,300万円)    | (6.2)      |
|                               | 後期高齢者医療特別会計* | (9億2,800万円) | —           | (9億2,800万円)  | (皆増)       |
| 障がい者福祉に係る予算                   |              | 23億5,700万円  | 21億1,500万円  | 2億4,200万円    | 11.4       |
| 高齢者福祉に係る予算                    |              | 23億9,100万円  | 19億7,400万円  | 4億1,700万円    | 21.1       |
| 児童福祉に係る予算                     |              | 72億2,400万円  | 68億8,300万円  | 3億4,100万円    | 5.0        |
| 生活保護に係る予算                     |              | 36億円        | 35億2,900万円  | 7,100万円      | 2.0        |
| 合計                            |              | 176億8,600万円 | 163億1,200万円 | 13億7,400万円   |            |

\*特別会計への繰出金のうち、( )内に示している老人保健医療・介護保険・後期高齢者医療分は、高齢者福祉に係る予算に含まれているため、合計には含んでいません。

**国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、後期高齢者医療特別会計**：急速に進む高齢化や医療の高度化などにより医療費は年々増加しています。20年度には医療制度改革により後期高齢者医療制度が開始されるなどし、繰出金が大幅に増加しています。

**介護保険特別会計**：高齢者人口の増加により、保険給付は年々増加を続けています。

**障がい者福祉に係る予算**：サービス利用の増加や、施設の整備などにより増加しています。

**高齢者福祉に係る予算**：後期高齢者医療制度の新設により増加しています。

**児童福祉に係る予算**：保育所の改築、学童クラブの新設、子育て総合的施設の建設などにより増加しています。

**生活保護に係る予算**：対象人員の伸びにより増加しています。

ここにかかるお金は  
増えちゃうだけなの？



増える傾向なのは確かだし、どうしても必要なお金ですね。  
でも、病気を減らすための健康づくりとか、交通事故の怪我を減らすための交通安全運動とか、間接的に努力できることもたくさんあるんですよ。

### 【コラム】市民負担の軽減のために

市では、様々な分野で市民負担軽減の取組みを行っています。ここでは、国の「税制改正」と「医療制度改革」に伴って増加する負担への取組みを紹介します。

平成20年度からの取組み

(1)医療制度改革に伴う負担増に対する取組み

①国民健康保険税引上げの激変緩和に伴う負担:(市独自)

1億5千万円

②後期高齢者医療制度の保険料軽減に伴う負担:(市独自)

1億2千万円

(2)税制改正に伴う負担増に対する取組み

①介護保険料の激変緩和の継続:(国制度)

1千万円

②心身障がい者交通費助成(タクシー・ガソリン代):(市独自)

③聴覚障がい者ファクシミリ助成:(市独自)

平成19年度以前からの、市独自の取組みとしては、介護保険居宅サービス利用料助成(2百万円)、高齢者保有電話、福祉電話、高齢者おむつ補助などがあります。

他にも、就学援助費、保育料など他市と比べ高水準のものが多くあります。また、市民個人負担を間接的・直接的に補助するものの他、大きなしくみづくりにも取り組んでいます。例えば、医療費補助に対しては、健康づくりにより医療費そのものの抑制を図ったり、保育事業以外にもファミリーサポートなどの支え合いの制度を設定することなどです。